

平成 31 年度 学力向上グランドデザイン

下郷町立下郷中学校

卒業時の進路希望 100%実現



めざす生徒像

- 育成したい資質・能力
- 主体的に学びに向かう力を身につけた生徒
 - 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得した生徒
 - 課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけた生徒



家庭学習の充実

- 家庭学習の時間の確保
- 家庭学習の内容の充実
- 学習サイクルの確立
- 教師の適切な点検指導

家庭学習時間
全員 80分間以上

授業の工夫と改善

- 1 わかる授業の実践
 - ① 実態を踏まえた指導内容の精選・重点化
 - ② 「めあて」と「まとめ」の明確化と評価の工夫
 - ③ 学習内容に応じた教材と指導方法の工夫
- 2 個に応じた指導の充実
 - ① 生徒個々の実態把握と個別の目標設定
 - ② 組織を生かしたTT、習熟度別指導の実施
 - ③ 補充的な学習、発展的な学習の工夫と実践
- 3 主体的・対話的な授業の実践
 - ① 言語活動の基礎となる「学び合い」の充実
 - ② 各教科の特質を踏まえた学習活動の工夫
 - ③ 安心して自己を表現できる学習集団の形成

NRT偏差値 全学年全教科とも50以上
NRT成熟値 アンダーアチーバー0
学習アンケート 授業への満足度80%以上

下郷町クローバープラン

- 実態把握と変容調査
- グランドデザイン活用
- 小・中の円滑な接続
- 小・中の共通実践
- 家庭・地域との連携

肯定的回答 80%以上

家庭生活習慣の確立

- 規則的な生活習慣
- 十分な睡眠時間の確保
- 余暇時間の有効活用
- 教師の適切な点検指導

睡眠 7時間以上
朝食摂取 100%

県学校教育指導の重点

- 「確かな学力」の向上を図る継続的な検証サイクルの確立
- 「確かな学力」の向上を図る授業づくり
- 「確かな学力」の向上を支える基盤づくり

教員の指導力の向上

- ① 研修主任を中心とする計画的な校内研修の推進
- ② 「授業スタンダード」を活用した授業の日常化
- ③ 「互見授業」を通じた授業力の向上
- ④ 外部講師による講演会等を開催しての資質向上
- ⑤ 学習内容の明確化と振り返りの工夫

学習する雰囲気づくり

- ① 学級経営の充実による「親和的な学習集団」の育成
- ② 生徒会活動等における主体的な態度の育成
- ③ 放課後、長期休業中における学習の機会の設定
- ④ 読書活動（朝読、家読等）の充実
- ⑤ 「家庭学習スタンダード」を活用した保護者への啓発

学びのスタンダード事業の推進

- 「授業スタンダード」の活用
 - ・校内研修の実質化を図るために管理職を中心としたマネジメントの確立と研修の充実を図る。
 - ・教員の「授業づくりの柱」に位置付ける。
- 「家庭学習スタンダード」の活用
 - ・家庭との連携による効果的な家庭学習の充実を図る。宿題の内容や量を話し合い、調整する。
 - ・「小・中学校の連携・協働の柱」に位置付ける。

他の教育活動との関連

- 特別の教科 道徳に向けた実践
- 学級活動を中心としたキャリア教育の充実
- 総合的な学習の時間による、問題を解決する資質や能力の育成
- 学校行事による集団活動への参加を通して、集団の一員としての自覚を深め、望ましい人間関係の形成
- 部活動を通して、身体的、及び精神的にも強い意志のある人間を育成